

大会名称：令和3年度 第51回関東中学校バスケットボール大会

開催場所：ひたちなか市総合運動公園体育館

Dコート

試合区分：女子

1回戦

期 日：2021(R3)年8月9日(月)

クルーチーフ

藤本 梨沙

(神奈川県)

開始時間：13:30

1st 7th 17

慶野 芽以

(栃木)

終了時間：14:40

2nd 7th 17

佐々木 琴美

(神奈川県)

七国		○		9		-1st-		11		●		大島			
(東京都)		51		14		-2nd-		3		50		(茨城県)			
				19		-3rd-		22							
				9		-4th-		14							
						-OT1-									
						-OT2-									
						-OT3-									
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	江上 ひまり	22	1	7	5	3	4	*	佐々木 瑠泉	12	1	3	3	3
5	*	田巻 花渚	-	0	0	0	1	5	*	浅井 桃寧	10	1	2	3	4
6	*	石川 蒼乃	4	0	1	2	2	6	*	江橋 央菜	7	0	3	1	2
7		佐藤 瑠衣	12	0	6	0	0	7		西野 美空	-	0	0	0	0
8	*	植松 世名	8	0	4	0	1	8		小川 心未	-	0	0	0	0
9		岩本 ひとみ	-	0	0	0	0	9	*	小川 葵彩	8	2	1	0	1
10	*	栗野 彩良	5	0	2	1	4	10	*	栗野 彩良	13	1	5	0	2
11		荒 香梨	-	-	-	-	-	11		早坂 瑞希	-	-	-	-	-
12		神崎 心優	-	-	-	-	-	12		阿部 柚月	-	-	-	-	-
13		小島 結月	-	-	-	-	-	13		池元 来愛	-	-	-	-	-
14		石橋 葉奈	-	-	-	-	-	14		松本 実桜	-	-	-	-	-
15		藤沢 桜	-	-	-	-	-	15		尾張 未柊	-	-	-	-	-
16		伊藤 らな	-	-	-	-	-	16		鈴木 七彩	-	-	-	-	-
								17		浅井 莓彩	-	-	-	-	-
								18		川崎 唯	-	-	-	-	-
コーチ 笹井 裕也								コーチ 小川 敏志							
A・コーチ 寺尾 勝博								A・コーチ 有馬 悠剛							
合計			51	1	20	8	11	合計			50	5	14	7	12

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

第1Q立ち上がり、両チームともハーフコートマンツーマンDefでスタート。両チーム緊張のためか、動きの硬さが目立つ立ち上がりとなったが、大島中#4佐々木のドライブインやミドルシュートが決まり、1-6で大島中が序盤のリードを奪い、前半5分七国中たまたずタイムアウトを要求する。タイムアウト明け、七国中は#10中平のポストプレイと#7佐藤の連続得点、さらに、#8植松のブザービーターにより点差を9-11の2点に詰めて、第1Qを終了する。第2Q開始早々、七国中#7佐藤のミドルシュートと#8植松のゴール下が決まり、逆転に成功する。対する大島中も#4佐々木のドライブインで食らいつくが、七国中#7佐藤のターンオーバーからの速攻や#4江上のフリースローが決まり、点差を5点に広げる。その後も、大島中は#4佐々木のドライブイン、#5浅井と#10海老沢の3Pで果敢にシュートを狙うが、七国中の堅実なディフェンスに阻まれ、七国中9点リードの23-14で前半を終える。第3Q、七国中#4江上のフリースローと速攻が決まり、点差を広げようとするが、大島中も#4佐々木と#9小川の3Pや#10海老沢のミドルシュートで応戦し、必死に食らいつき点差を6点に縮める。一方、絶対に追いつかれない七国中は#4江上のドライブインからファールをもらい、フリースロー後の3Pを成功させ、大島中の追撃を許さない。3Q終了間際、大島中#10海老沢の3Pが決まるも、#8小川のミドルシュートが決まり6点差で第3Qを終了する。お互いのプライドをかけた第4Qは、両チーム速い展開で得点を重ねていく。残り時間4分で大島中#5浅井のドライブインが決まり、点差を2点に詰め、残り時間3分のところで、七国中がたまたずタイムアウトを要求する。タイムアウト明け、大島中#5浅井のフリースローと3Pが決まり逆転に成功する。対する七国中も#4江上のドライブインで点差を同点にするが、大島中#5浅井のフリースローが1本成功し、再び大島中がリードを奪う。七国中はセットオフenseから#4江上が冷静にゴール下を沈め、リードは再び七国中へ。1点差を巡る攻防が続いたが、大島中#10海老沢が放ったラストショットが外れ、最終スコア51-50で七国中が勝利を収めた。両チームとも持ち味を生かした好ゲームであった。最後まで戦い抜いた選手たちに拍手を送りたい。